
Time Travel -未来の私たち-

Apple Of My Eye

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

Time Travel - 未来の私たち -

【Zコード】

Z3951M

【作者名】

Apple Of My Eye

【あらすじ】

新一たちのもとへ未来の自分の子供がやってきたあー!?しかも服部たちの子供までーー!?
さ、ちっさい名探偵、どうするか?

「灰原、薬まだー、ひつつか何の研究?」

「私。言つたわよね。薬はまだできないって。タイムマシン作つてるわ。後15年くらいで完成して、今に戻つて薬あげるわ。」

「ドドドーーーーン

突然大きな音がした。

「げつーーまじ、で。？」

「あらはやかつたわ」哀はつぶやいた。

「なんやねん? ここ? 優一分かるか?」

「志保がタイムマシンでやつただよ、きっと。」呆れ氣味に呟いた。

「お前誰?」

「新一と和葉ちやんटリーナー」

「ひ、らんー?」

すると和葉にてる少女が言った

「あたいは、かずはじやあらへん。かずせせつけのゆけや。あたいはしづはだ」

「服部と遠山さんのお子!...?」

「せや。自分は優一のおやじハンやろ?」

「じこつ、俺の息子!...?」

新一は密かに嬉しがつていた。母は蘭だつたりしてー何で思いながら。

「母さん?」優一は蘭に向かつて言った。

「わ、私?」

「ああ。親父と今も未来もラブラブだしな。ひつつか親父がちっさくなつたのつて本当か。」

丁度志保がタイムマシンから戻ってきた。

「あつたわ。薬、そして。。ウフフ」

「？？」

「何でも。」

「まさか、おまえ面野？」「おややか」

優一は志保を殴りつとした。するとじずばが、「この時代で苛めたから実験台にされたんや、きつとな。」

「ギクッ！」急いで志保をはなした。

「もう遅いわよ。」と冷たく言つて志保は出て行つた。

「俺と蘭の子供。」

「／＼／＼／＼」2人そろつて真っ赤だつた。

「じゃあ、優一、お買い物行こう！もちろん、新一のふりで」

「ああああ、か、母さん。」優一は連れだされた。

「じゃあ俺らは留守番だな。」

「せやな。」

「静葉ちゃん。」2人残された部屋で、新一はつぶやいた。

「ちゃんはやめてーな、気色わるーてしゃーないわ」

「あ、ああ。お前さ、優一のこと、好き、だろ?」

すると静葉は真っ赤になつてうつむいた。その姿は平次のことからかわれて照れる和葉にそっくりだった。

「。。せ、せやけど、優一は多分、あたしらの9歳年上のおねーさんが好きなんや。いつも2人目あつたら、優一赤うのうつな。。」

「新一はびっくりして聞いた、

「おねーさんって、まさか。歩美ちゃん?」

「せや

「なるほど。。」

「で本当に誰かに相談したくて。。あたい、海生みおにいっぱい相談して。。」

「海生ってまさか。」

「京極海生」

「やつぱり。」

「。。そのころ優一と蘭は。。。」

「優一、好きな子いる?」

「いるけど。。」

「静葉ちゃん?」

優一は赤くなつてそっぽを向いた。

「図星ね。」

「ふん!でもあいつは多分、園子おばさんとの海生といつもしゃべつて赤くなつて。で、俺が静葉見てるとこりを歩美おねーさんに見られて、事情を説明したら何か相談とかにのつてくれたし。。」

「ふうーん。。私は静葉ちゃん、優一が好きだと思つわよ?」

「へ？」「

「静葉ちゃんは、和葉ちゃんが服部君を見てると同じ顔して優一見てるもん」

「んな分けねーだろ。。」

「へへ、照れちゃつて」「

「バ、バーロー・・それより、もう帰ろひばり母さん」

「愛しの静葉に会いたいの？」

「そう言う母さんも父さんに会いたいんでしょ？」

「新一とは幼馴染だよ！..」

「へへ；2人の間で生まれた息子にそんなこと言つて信じてもうえ
るかあ？」

蘭は真っ赤になつた。

「さあ、帰ろう帰ろう

「

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3951m/>

Time Travel -未来の私たち-

2010年10月11日00時20分発行